

課かい名		救命課																															
施策目標		救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する																															
基礎情報						実施計画	平成22年度評価						平成23年度計画						今後の事業展開														
事務事業					対象 (顧客)	事業の 性質区分	第5次実施計画 実施計画 事業名	実績				事後評価		平成23年度計画						今後の事業展開													
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名	事務事業の 目的・成果	活動				決算内訳（千円）		事務事業の目的に 対する成果の状況	22年度 の取組 に対する 分析	活動		予算内訳（千円）		業務 計画	必要性			事業の 方向性	事業手法					事業の改善提案		予算 の方向性					
				活動				活動量・サービスの達成状況				当該事務事業全 体の決算額 (合計)	活動ごとの 決算額	事業の指標の名称	目標値		当該事務事業全 体の予算額 (合計)	活動ごとの 予算額	①目的 達成		②二 次ス	③成 果	④続 続性	①人件費 減	②通 達	③民間 活用	④市民協 働		⑤そ の他	手法の 変更の有 無	改善 時期 (年度)	改善の 内容	
								活動指標の名称	目標値																								実績値
601	総	救急業務及び救助業務に係る施策の調査・研究	救急救助業務実施にあたって、職員の安全と部隊の遂行能力に必要な知識・技術の向上を目指す。	救急隊員・救助隊員	定例定型							国、県からの報告、照会に対し、遅滞なく対応できた。	A																				
601		救急業務及び救助業務に係る施策の調査・研究					国、県等から報告のあった事故事例の調査研究	国、県等からの調査依頼等に対する対応件数と対応率	調査等依頼のあった件数を目標値とする	100% (14件)				事業No888へ統合																			
602	総	救急業務及び救助業務の基本計画策定及び見直し	救急救助業務実施にあたって、職員の活動実施基準を作成し現場活動の統一を図る。	救急隊員・救助隊員	定例定型							県救急搬送基準策定に 関し対応した。	A																				
602		救急業務及び救助業務の基本計画策定及び見直し					救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	救急活動実施基本計画、救助活動実施基本計画の見直し	平成23年3月末までに見直しの必要があった件数	平成23年3月末に県により策定された。				事業No888へ統合																			
1	総	救急救命士の養成及び育成	救急救命士の養成及び救急救命士の知識・技術向上のため	救急隊員・救急救命士	政策					6,689		新規救命士の継続的な養成、資格取得後の救命士に対しての再教育が予定とおり実施できた。	A		救急救命士の養成、研修人数	救命士の養成2人再研修等20人	6,697		業務計画	未	高	高	高	現状維持					有り			維持	
1		救急救命士の養成及び育成					救急救命士の継続的な養成（人選、派遣）	養成人数	2人	2人	4,292			救急救命士の継続的な養成（人選、派遣）	養成人数	2人	4,337	業務計画						不可	必要	法令不可	不可	有	有り	26以降	運用救命士の数のバランスを取りながら、適宜有資格者を採用し、消防職員からの養成も適宜1人とする。		維持
1		救急救命士の養成及び育成					救急救命士就業後研修への派遣（人選、決定）	派遣人数	14人	13人	780			救急救命士就業後研修への派遣（人選、決定）	派遣人数	14人	840	業務計画						不可	必要	法令不可	不可	無	なし			維持	
1		救急救命士の養成及び育成					救急救命士就業前研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	3人	3人	300			救急救命士就業前研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	2人	200	業務計画						不可	必要	法令不可	不可	無	なし			維持	
1		救急救命士の養成及び育成					救急救命士気管挿管、薬剤投与研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	計4人	計4人	1,060			救急救命士気管挿管、薬剤投与研修への派遣（人選、派遣）	派遣人数	計4人	1,060	業務計画						不可	必要	法令不可	不可	無	なし			維持	
1		救急救命士の養成及び育成					救命士が活動する際の賠償保険加入/感染性廃棄物の処理委託	救急救命士賠償責任保険の加入人数/感染性廃棄物の処理委託件数	保険は全救命士37人/委託件数延60件	100% (37人／60件)	257			救命士が活動する際の賠償保険加入/感染性廃棄物の処理委託	救急救命士賠償責任保険の加入人数/感染性廃棄物の処理委託件数	保険は全救命士39人/委託件数60件	260	業務計画						不可	必要	済	不可	無	なし			維持	
2	総	救助隊員の教育及び訓練実施事業	救助隊員の知識、技術の向上を図ると共に安全管理能力の向上を図る。	救助隊員	定例定型					155		計画を作成し、適切に訓練等の業務を遂行し、成果が出ている。	A		訓練の実施率／各大会への選手派遣数	100%30人	161		未	高	高	高	現状維持						なし			維持	
2		救助隊員の教育及び訓練実施事業					救急、救助隊員の各種訓練を計画、実施する	隊ごとに個々に訓練計画を策定し、訓練を実施した実施率	100%	100% (16隊)	90			救助隊員の各種訓練、研修を実施する	隊ごとに個々に訓練計画を策定し、訓練を実施した実施率	100%	96						不可	必要	その他不可	不可	無	なし				維持	
2		救助隊員の教育及び訓練実施事業					湘南地区、県大会、関東大会、全国大会等への職員派遣	派遣人数	30人	延べ87人を各指導会へ派遣した	65			湘南地区、県大会、関東大会、全国大会等への職員派遣	派遣人数	30人	65						不可	必要	その他不可	不可	無	なし				維持	
3	総	救急、救助に係る業務内容の検討、調査及び指導	救急救助業務実施について、国からの通知等に対応し連絡調整を行うこととする。	救急隊員・救助隊員	定例定型							適切に事務、指導を行っており、対応ができています。	A		指導に対して対応した件数と対応率	100%			未	高	高	高	現状維持					なし			予算なし		
3		救急、救助に係る業務内容の検討、調査及び指導					国や県からの指針に基づいた指導等に対する調整、改善	指導に対して対応した件数と対応率	対応指導件数/100%	100% (6件)				国や県からの指針に基づいた指導等に対する調整、改善	指導に対して対応した件数と対応率	対応指導件数/100%							不可	必要	法令不可	不可	無	なし			予算なし		

課かい名		救命課				救命課																													
施策目標		救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する																																	
基礎情報						実施計画	平成22年度評価						平成23年度計画						今後の事業展開																
事務事業					対象（顧客）	事業の性質区分	第5次実施計画	実績				事後評価																							
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	実施計画事業名			活動			決算内訳（千円）		事務事業の目的に対する成果の状況	22年度の取組に対する分析	活動		予算内訳（千円）		業務計画	必要性				事業の方向性	事業手法					事業の改善提案		予算の方向性				
							活動	活動量・サービス量の達成状況		当該事務事業全体の決算額（合計）	活動ごとの決算額			事業の指標の名称	目標値	当該事務事業全体の予算額（合計）	活動ごとの予算額		①目的達成	②ニーズ	③成果	④継続性		①人件費減	②必要経費の削減	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無	改善時期（年度）		改善の内容			
								活動指標の名称	目標値																								実績値	13,489	13,489
4	総	AED（自動体外式除細動器）の整備及び運用	救急救助業務実施にあたっての調査研究を行い、AEDでの早期除細動実施により、救命率の向上を目指す。	消防職員・事業所職員・市民	政策					3,496	既存で設置されているAEDの消耗品等の定期交換整備はすべて完了している。	A			消耗品等の交換機器数、枚数	51台/185組	5,071		業務計画	未	高	高	高	現状維持						なし			維持		
4		AED（自動体外式除細動器）の整備及び運用					自動体外式除細動器（AED）の維持・管理	全設置台数のうちバッテリー交換が必要な台数/交換パッド組数	37台/175組	38台/187組		3,496			自動体外式除細動器（AED）の維持・管理	全設置台数のうちバッテリー交換が必要な台数/交換パッド組数	51台/185組		5,071		業務計画						済	必要	その他不可	不可	無	なし			維持
5	総	湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業	救急救送後、処置内容を医師に検証してもらい職員にフィードバックさせ、以後の現場活動に反映させる。	救急救隊員・救急救士	政策					890	各種研修会への派遣が実施でき、事後検証作業、救命行為指示要請等により円滑な業務の実施ができた。	A			協議会内の会議等への出席状況	全会議出席	1,421			業務計画	未	高	高	高	現状維持						なし			維持	
5		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業					湘南地区メディカルコントロール協議会が開催する教育研修への派遣等	派遣回数	年16回	15回					湘南地区メディカルコントロール協議会が開催する教育研修への派遣等	派遣回数	年16回			業務計画						不可	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし	
5		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業					各種事後検証作業・検証票印刷を実施	事後検証作業への派遣回数	年12回	12回（216件）		389			各種事後検証作業・検証票印刷を実施	事後検証作業への派遣回数	年12回		442		業務計画						不可	必要	その他不可	不可	無	なし			維持
5		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業					医師からの指示に対する特定行為の実施	現場での救命行為への医師の指示回数	救命行為全件数	167件		501			医師からの指示に対する特定行為の実施	現場での救命行為への医師の指示回数	救命行為全件数		456		業務計画						不可	必要	その他不可	不可	無	なし			維持
5		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業					（事業No603から分割）								湘南地区メディカルコントロール協議会との連絡調整	調整会議等に対応した数	定期的及び随時開催される会議等の数		523		業務計画						不可	必要	その他不可	不可	無	なし			維持
6	総	救命講習会拡大事業	救急現場で一般市民の行う応急手当が傷病者の生命、予後に大きな影響を与える事を広め、普及協力を育成する。	市内在住在勤者・普及員・指導員	政策	救命講習会拡大事業					1,582	震災の影響により中止があったがそれ以外は定期及び随時申し込み講習会に対して100%実施することができた	A		各講習会の累計延べ受講者数	累計延べ受講者数30,000人	1,516			業務計画	未	高	高	高	現状維持						なし			維持	
6		救命講習会拡大事業					応急手当講習会の実施	講習会実施回数	年50回以上	60回					応急手当講習会の実施	講習会実施回数	年50回以上			業務計画							済	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし
6		救命講習会拡大事業					普通救命講習会の実施	講習会実施回数	年110回以上	100回					普通救命講習会の実施	講習会実施回数	年110回以上			業務計画							済	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし
6		救命講習会拡大事業					上級救命講習会の実施	実施回数（随時含む）	年3回以上	4回					上級救命講習会の実施	実施回数（随時含む）	年3回以上			業務計画							済	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし
6		救命講習会拡大事業					応急手当普及員講習会を実施	実施回数	年3回	3回					応急手当普及員講習会を実施	実施回数	年3回			業務計画							不可	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし
6		救命講習会拡大事業					応急手当普及員に対する研修会を実施	実施回数	年15回	15回					応急手当普及員に対する研修会を実施	実施回数	年15回			業務計画							不可	必要	その他不可	不可	無	なし			予算なし
6		救命講習会拡大事業					応急手当等の講習会資器材の管理	資器材の整備率	100%	100%		1,582			応急手当等の講習会資器材の管理	資器材の整備率	100%		1,516		業務計画						不可	必要	その他不可	不可	無	なし			維持
7	総	市内医療機関との連携及び調整事業	災害時等における市内救急医療医療機関との連携体制の維持	市内医療機関	定例定型						677	国、県の事務は円滑に行っている。湘南地区MC及び市内救急病院にあっても調整や業務が円滑に行えた。	A		調整会議実施数	2回	86			業務計画	未	高	高	高	現状維持						なし			維持	
7		市内医療機関との連携及び調整事業					国、県、他市の各担当との救急救助業務に関する連絡調整	国・県からの調整等に対応した率	100%	100%（10回）					事業No888へ分割																				

課かい名				救命課		救命課																													
施策目標				救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する																															
基礎情報						実施計画	平成22年度評価								平成23年度計画							今後の事業展開													
事務事業					対象 (顧客)	事業の性質区分	第5次実施計画	実績				事後評価																							
事業No.	総括フラグ	事務事業名	事務事業の目的・成果	実施計画事業名			活動			決算内訳（千円）		事務事業の目的に対する成果の状況	22年度の取組に対する分析	活動		予算内訳（千円）		業務計画	必要性			事業の方向性	事業手法					事業の改善提案		予算の方向性					
							活動	活動量・サービス量の達成状況		当該事務事業全体の決算額（合計）	活動ごとの決算額			事業の指標の名称	目標値	当該事務事業全体の予算額（合計）	活動ごとの予算額		①目的達成	②二ス	③成果		④継続性	①人件費減	②必要性	③民間活用	④市民協働	⑤その他	手法の変更の有無		改善時期（年度）	改善の内容			
								活動指標の名称	目標値																								実績値		
								13,489	13,489																										
7		市内医療機関との連携及び調整事業				湘南地区メディカルコントロール協議会、各病院との連絡調整	MC・各病院との調整会議等に対応した数	定期的及び随時開催される会議等の数	合計42回		521			（事業No5へ分割）																					
7		市内医療機関との連携及び調整事業				災害時における医療機関との連携体制の確立	市内救急病院との連絡調整会議実施/災害派遣医療チームの確立	会議3回/災害派遣年間10回を想定	検討会3回/災害派遣症例なし		156			災害時等における市内救急医療医療機関との連携体制の維持	連絡調整会議の実施/災害派遣出動回数	2回/年間10回を想定		86	業務計画															維持	
8	総	救急統計及び救助統計事務	救急・救助業務実施について、国、県、各病院との連絡調整を行うこととする。	国県職員・湘南地区MC・病院	定例定型									定期的報告及び照会等に対し円滑に遡滞なく対応を行っている。	A						未	高	高	高	現状維持								予算なし		
8		救急統計及び救助統計事務				国、県、病院等への報告事務	照会等に対応した率	100%	100%（66回）					国、県、病院等への報告事務	照会等に対応した率	100%																	予算なし		
9	総	安心カプセル・安心カード推進事業	必要とする市民に配付することにより、救急活動現場等において、迅速な情報収集に役立てる。	市民	政策													400	業務計画		未	高	高	高	現状維持							有り	維持		
9		安心カプセル・安心カード推進事業												医療情報を記入できるカードとカードを収納するカプセルを配布する	市民への配布数	カプセル5,000個 カード10,000枚		400	業務計画													有り	23	事業の一部について、再任用職員の活用が可能	維持
10	総	救急隊員の教育及び訓練実施事業	救急隊員の知識、技術の向上を図る。	救急隊員	定例定型																未	高	高	高	現状維持								予算なし		
10		救急隊員の教育及び訓練実施事業				（事業No2から分割）								救急隊員に対し各種研修・訓練を実施する	研修・訓練実施計画を策定し、実施した実施率	100%																	予算なし		
11	総	救急車利用適正化事業	救急車利用の適正化を図るための啓発活動	市民等	定例定型									高齢化等による増加により、搬送人員による活動指標では、推し量れないものがあり活動指標を見直す必要がある	B						未	高	高	高	現状維持							有り	予算なし		
11		救急車利用適正化事業				救急車の適正な利用についての啓発活動	救急搬送人数	前年の搬送数からの減少	585人増加					イベント、広報紙等複数の媒体等を利用しての啓発活動／不適正利用率の調査	不適正利用率	15%未満			業務計画													有り	23	事業の一部について、再任用職員の活用が可能	予算なし
888	総	災害応急対策活動	本市域に、地震・津波等を伴う諸現象による同時多発的災害が発生した場合に、被害を軽減し、災害応急対策活動を迅速的確に対処する。	全市民等	定例定型																				現状維持									予算なし	
888		災害応急対策活動				茅ヶ崎市地域防災計画に基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時	風水害1回 震災 1回					茅ヶ崎市地域防災計画に基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時																		予算なし	
888		災害応急対策活動				災害応急対策活動マニュアルに基づく課（班）の連携活動の検証及び見直し	マニュアルの検証及び見直し	4月	4月					災害応急対策活動マニュアルに基づく課（班）の連携活動の運用及び検証	発生段階に応じて適切に対策を実施した割合	随時																		予算なし	
888	総	庁内共通事務																							現状維持									予算なし	